

## 医療安全に関する職員アンケート調査報告

西播磨リハビリテーション病院は開設４年目をむかえ、リスクマネジメント委員会として病院利用者ならびに職員の医療安全に対して日々取り組んでいます。一方で経験の浅いスタッフも多く、職員の医療安全に関する知識にも個人差がみられるのも事実であり、今年度の目標のひとつとして病院各部署から一例でも多くのヒヤリ・ハット体験報告書を提出しようとしています。

また、これらの情報を共有することで職員一人一人が病院の医療安全に対し意識を持って日々の業務に活かしていくことが大切と考えます。

今回、病院職員に基本的な医療安全に対する調査を行い、リスクマネジメント委員会にて取りまとめましたので報告いたします。委員会としてはこれらの結果をもとに今後の当院における医療安全に対する職員に意識向上と病院における医療安全文化の醸成に役立てたいと考えております。

（リスクマネジメント委員会 委員長 加藤順一 2010 年 2 月）

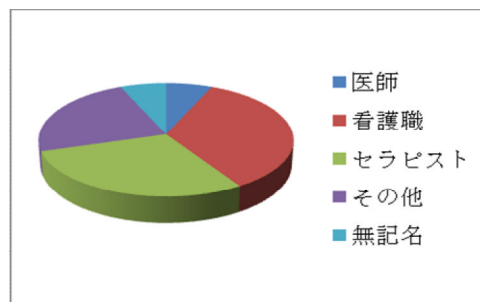
アンケート実施時期：2009 年 11 月 24 日—12 月 1 日（全国医療安全推進週間）

アンケート配布数：127 名

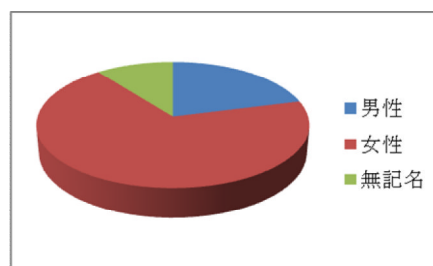
アンケート回収率：96%

アンケート内容：別紙参照

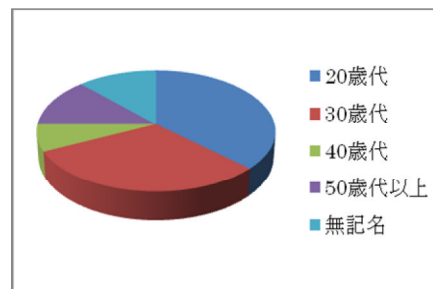
職種	医師	8
	看護職	43
	セラピスト	36
	その他	29
	無記名	8
	計	124



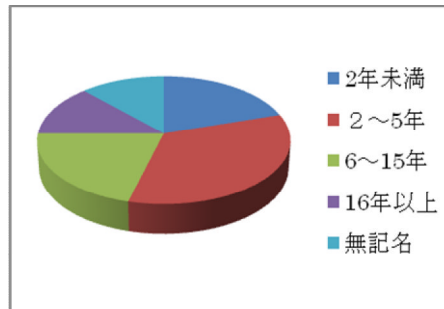
性別	男性	26
	女性	85
	無記名	13
	計	124



年令	20 歳代	46
	30 歳代	38
	40 歳代	9
	50 歳代以上	16
	無記名	15
	計	124



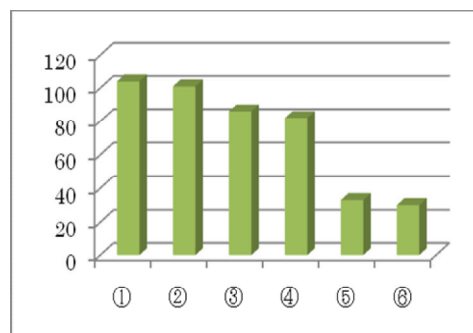
経験年数	2 年未満	25
	2～5 年	42
	6～15 年	26
	16 年以上	16
	無記名	15
	計	124



問1 ヒヤリ・ハット体験報告書を記載する定義を知っていますか？（複数回答可）

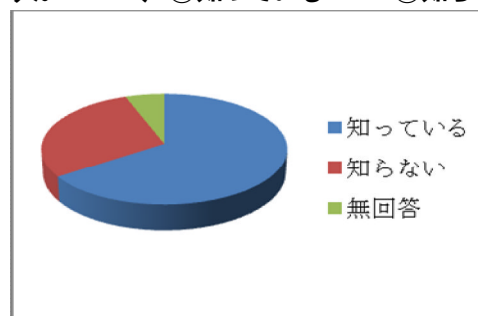
- ① ☐ 体験報告書として集められる事象の発生傾向がわかる
- ② ☐ 潜在的なリスク・背景要因を教えてくれる
- ③ ☐ 共通リスク・背景要因を教えてくれる
- ④ ☐ 防止に関して学べる
- ⑤ ☐ 技術状況がわかる
- ⑥ ☐ 仕事の質の評価ができる

問1	①	104
	②	101
	③	86
	④	82
	⑤	33
	⑥	30



問2 部署のリスクマネージャーを知っていますか（①知っている・②知らない）

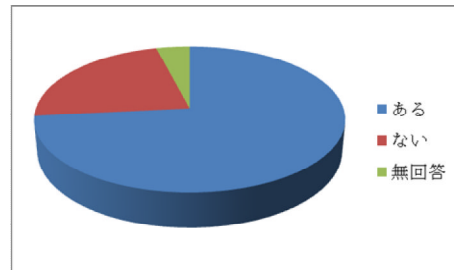
問2	知っている	81
	知らない	36
	無回答	7



3、今までヒヤリ・ハット体験報告書を記載したことがありますか？（ ①ある ・ ②ない ）

4、記載しにくいと感じることはありますか？内容を記載してください。

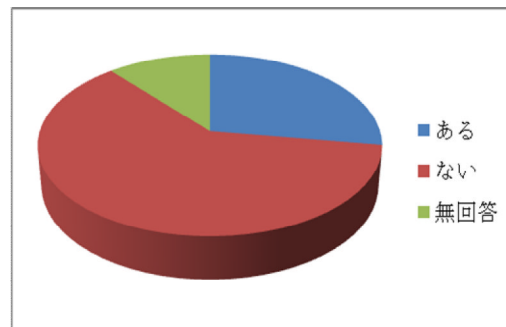
問3	ある	91
	ない	28
	無回答	5
	計	124



問5 ヒヤリ・ハット経験したときでも体験報告書を記載しなかったことはありますか？

（ ①ある ・ ②ない ）

問5-1	ある	34
	ない	76
	無回答	14
	計	124

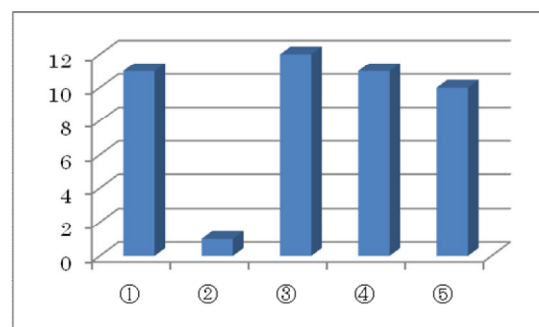


①あると答えた方はなぜ記載しなかったのでしょうか

1) ☐ 問題となっていないので報告の必要はないと思った 2) ☐ 提出すると責められ感じがする 3) ☐ 忙しかった 4) ☐ 様式が書きにくい 5) ☐ その他

（ ）

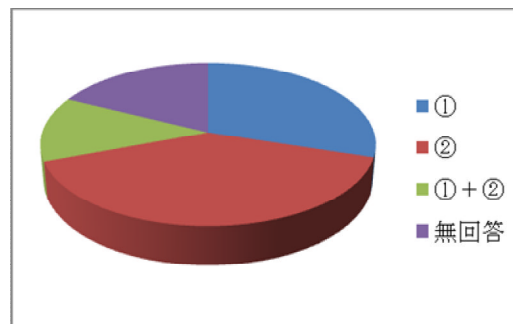
問5-2	①	11
	②	1
	③	12
	④	11
	⑤	10



問6 患者影響レベル0は知っていますか？（複数回答可）

- ① ☐ エラーや医薬品・医療器具の不具合が見られたが、患者に実施されなかった状況。
- ② ☐ 患者への実害はなかった状況

問6	①	37
	②	49
	①+②	16
	無回答	22
	計	124

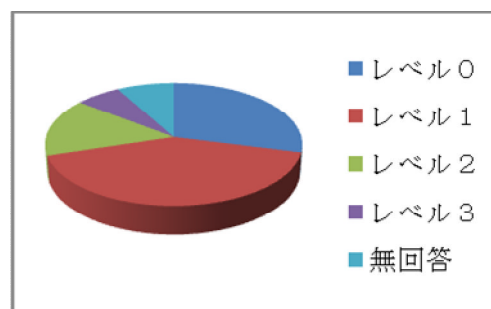


問7-1 下記の事象の影響レベルはどれでしょうOで囲んでください。

① 行動制限(黄色カード)の患者が、エントランスで新聞を読んでいるのを発見した。

【 患者影響レベル 0 ・ 1 ・ 2 ・ 3 】

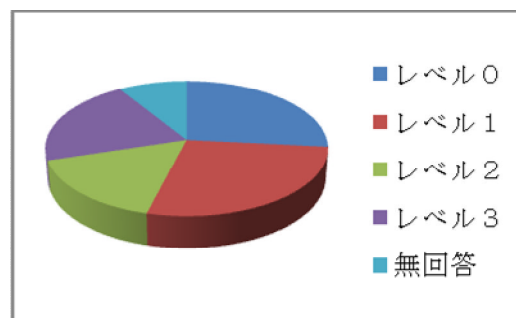
問7-1	レベル0	36
	レベル1	51
	レベル2	19
	レベル3	8
	無回答	10
	計	124



② スタッフステーションのテーブルの上に、はさみ・薬・注射などが放置してあった。

【 患者影響レベル 0 ・ 1 ・ 2 ・ 3 】

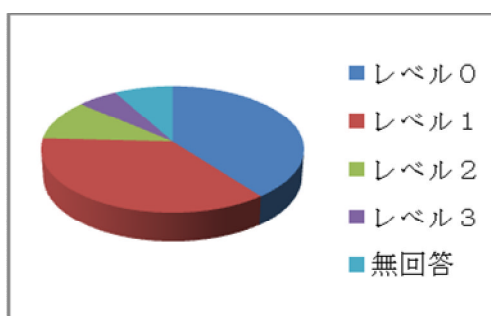
問7-2	レベル0	33
	レベル1	34
	レベル2	20
	レベル3	26
	無回答	11
	計	124



③ 訓練時間になっても患者が来られず部屋に迎えにいても居られない。レストランで面会者とお茶をしていた。

【 患者影響レベル 0 ・ 1 ・ 2 ・ 3 】

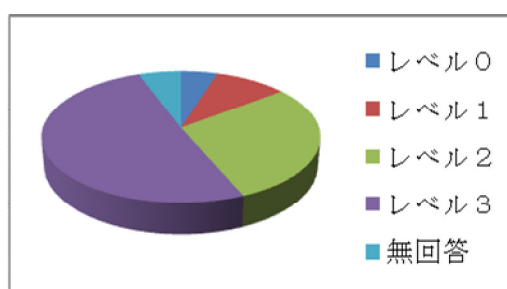
問7-3	レベル0	49
	レベル1	45
	レベル2	13
	レベル3	7
	無回答	10
	計	124



④移乗見守りの患者を見守っていたが足を滑らして床に転倒し肘を打撲した。

【 患者影響レベル 0 ・ 1 ・ 2 ・ 3 】

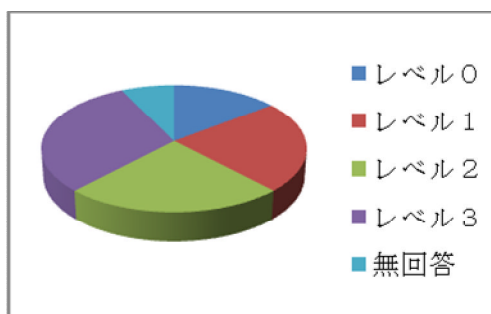
問7-4	レベル0	6
	レベル1	12
	レベル2	36
	レベル3	63
	無回答	7
	計	124



⑤定期処方指示が抜けていた。

【 患者影響レベル 0 ・ 1 ・ 2 ・ 3 】

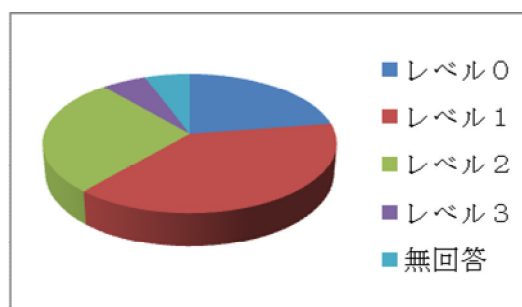
問7-5	レベル0	18
	レベル1	29
	レベル2	30
	レベル3	38
	無回答	9
	計	124



⑥移乗介助の患者のトイレ介助中 外で待っていたが、立ち上がる様子を感じすぐにトイレに入り介助したため転倒は防げた。

【 患者影響レベル 0 ・ 1 ・ 2 ・ 3 】

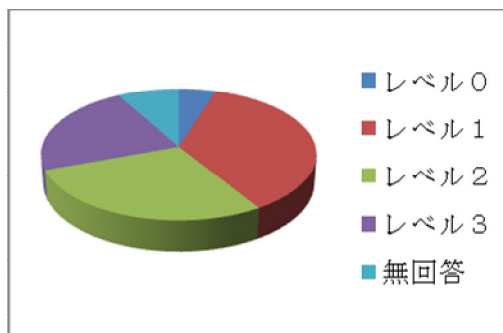
問7-6	レベル0	28
	レベル1	48
	レベル2	34
	レベル3	7
	無回答	7
	計	124



⑦ 患者さんの処置を行い部屋から出たさい手洗いをしないまま他の患者のケアをした。

【 患者影響レベル 0 ・ 1 ・ 2 ・ 3 】

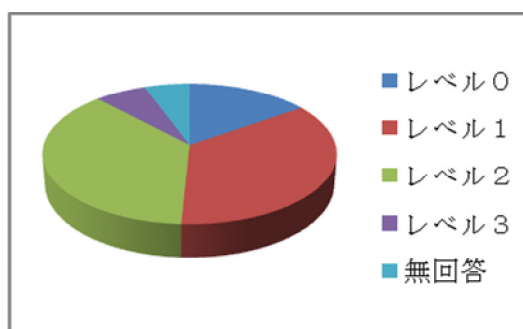
問7-7	レベル0	6
	レベル1	45
	レベル2	35
	レベル3	28
	無回答	10
	計	124



⑧患者が廊下を移動中配膳車が出てきてぶつかりはしないが、もう少しで接触しそうになった。

【 患者影響レベル 0 ・ 1 ・ 2 ・ 3 】

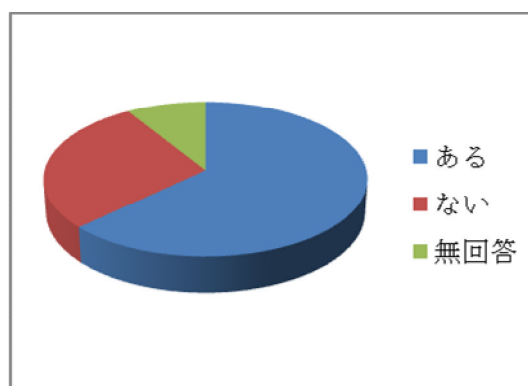
問7-8	レベル0	19
	レベル1	44
	レベル2	46
	レベル3	8
	無回答	7
	計	124



問8-1 部署間でヒヤリ・ハット体験報告書の共有はどのように行っていますか？

1) 報告会がある ( ①ある ・ ②なし )

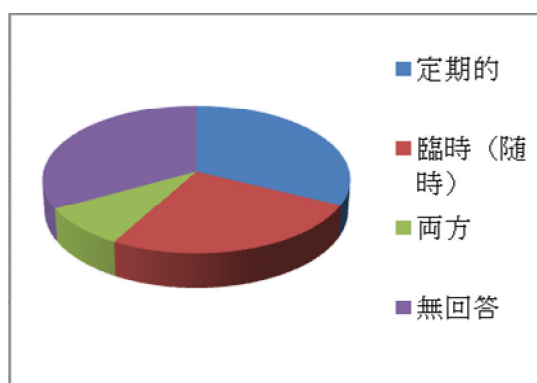
問8-1	ある	78
	ない	35
	無回答	11



問8-2) どのような時期にしていますか ( ①定時 ・ ②臨時(随時) ③両方 )

時期が決まっていればお書き下さい ( )

問8-2	定期的	40
	臨時(随時)	32
	両方	11
	無回答	41
	計	124



## まとめ

今回の医療安全・ヒヤリ・ハット体験に対する病院職員の意識に関して、ヒヤリ・ハット体験報告書提出することで、体験に至るプロセス過程を振り返り、そこに潜む背景要因を探ることにより、繰り返さないために職場内でその情報を共有することが重要であります。問-1の結果より概ねスタッフのリスクに対する意識は基本的には保たれていると思われます。

しかしながら、部署内のリスクマネージャーを知っているかどうか（問-2）については、およそ 65%の職員が知っているにとどまり、記載報告の経験がある割合が 73%であった。また、ヒヤリ・ハット体験をしたにもかかわらず報告書提出しなかった割合も 27%にみられ、その理由として「問題ないと思った」や「忙しくて記載できない」や「様式が書きにくい」などの意見もみられ、今後、記載しやすい書式に変えることや提出しやすい環境づくりを作っていく必要があると思われます。

医療事故には至らなくても患者さまへの影響度を表わす患者影響レベルについて、リスクマネジメント委員会で取り上げられるレベル 0~3 の分類で、特にレベル 0 に関する質問 6 では両方の項目選択が正解であるが、両項目を答えた割合は 10%にとどまった。問 7 で具体的な事象についてレベル評価を問うたが、患者さまの背景因子や細かい状況において、当然患者影響レベルは異なってくることが予想されるが、得られた回答にはばらつきがあり、各レベル 0・1・2・3 の定義とその理解においてスタッフそれぞれが適格にできていないことや理解が曖昧であることも推測できます。従って職員スタッフ全体で日頃遭遇するヒヤリ・ハット体験と患者影響レベルについて再教育し患者影響度について学習することでリスクに対する意識づけをはかっていく必要があります。

また、部署内および部署間でのリスクへの情報を共有しているかどうかの

問 8 ではおよそ7割のスタッフが何らかのかたちで報告を受ける機会をもっているが、ヒヤリ・ハットを繰り返さないための一歩すすんだ解決法の取り組みも必要かとも思われます。

最後に、リスクマネジメント委員会としては、今回の結果をふまえて、さらに医療安全への職員に意識向上と病院における医療安全文化の育成に向けて、医療安全に関して学習する機会をもつとともに、病院スタッフの意識レベル改革に先導的役割をもって運営していくことと致します。